

<市民意識調査について>

○本市に住所を有し、平成24年5月1日現在で20歳以上の方から2,000人を年齢層ごとに無作為に抽出し、郵送等による調査票の配布・回収の方法で実施。平成24年度952人、平成23年度986人回答。

○現状値は平成22年度実施分、「－」となっている場合は新規の設問。「目標値」の数値は平成27年度の目標値、「↑」は平成23年度の数値より上がっていること？

○平成23年度と平成24年度については、参考までに私が調査結果を集計して載せています。

《第11次総合計画》

1-1 施策1 農林水産業を起点とした六次産業(倉吉ブランド)を確立する<1>

指標名	指標の説明(出典)	現状値	目標値(平成27年)
①新たに商品化され、販売が始められた六次産品の累計数【品】	農商工連携組織等から新たに商品化された商品の累計数	3品 (平成22年度) ※単年実績	20品 (累計)
②六次産業の創出に取り組んでいる事業者の数【事業者】	農商工連携組織に加入している事業者等の数	31事業者 (平成22年)	40事業者
③製造業(食料・飲料)の製造出荷額【百万円】	市内に立地する従業員4人以上の製造業(食料・飲料)の製造出荷額	3,437百万円 (平成20年)	3907百万円 H21 3552百万円 H22 3276百万円

*指標名③の目標値欄にある「H21 3552百万円、H22 3276百万円」は、倉吉市市勢要覧(統計資料編:「鳥取県工業統計調査結果報告書」鳥取県)より抜粋

1-1 施策2 農林水産業の魅力と可能性を最大限に引き出し、活力を高める<2>

指標名	指標の説明(出典)	現状値	目標値(平成27年)
①認定農業者数/農業従事者数【%】	農業従事者(戸数)のうち、農業経営者として認定を受けた従事者の割合	5.03% (平成21年度)	5.76%
②農業生産法人数【組織】	集落営農組織のうち法人化している組織の数	10組織 (平成22年度)	15組織
③新規就農者の累計人数【人】	新たに農業を職業として選択した人の累計人数	5人 (平成22年度) ※単年実績	25人
④担い手農家への農地集積の割合【%】	担い手農家の農地集積面積/経営耕地面積	6.3% (平成21年度)	8.8%

1-2 施策3 ものづくり産業の競争力を高めるための環境を整える<3>

指標名	指標の説明(出典)	現状値	目標値(平成27年)
-----	-----------	-----	------------

①市内製造業の従業者数【人】	市内に立地する従業者4人以上の製造業事業所で働く人の数	4,094 人 (平成20 年)	4,300 人 H22 3700人 H23 3672人
②製造品出荷額等【百万円】	市内に立地する従業者4人以上の製造業事業所の製造品出荷額等	98,234百万円 (平成20 年)	100000百万円 H22 75112百万円 H23 75259百万円
③新規進出企業の累計数【件】	新たに市内に立地した製造業事業所の累計数	0件 (平成22 年度) ※単年実績	5件 (累計) H24 4件 H25 3件
④既存企業の増設累計数【社】	市内の既存企業のうち増設した製造業事業所の累計数	0社 (平成22 年度) ※単年実績	5社 (累計)

*指標名①の目標値欄にある「**H22 3700人、H23 3672人**」及び指標名②の目標値欄にある「**H22 75112百万円、H23 75259百万円**」は、倉吉市市勢要覧（統計資料編：「鳥取県工業統計調査結果報告書」鳥取県）より抜粋

1-2 施策4 みんなが働きやすい環境を整える<4>

指標名	指標の説明(出典)	現状値	目標値(平成27 年)
①地元採用率【%】	市内に立地する事業所で働く従業員総数のうち、市内に居住する人が占める割合	48.4% (平成21 年)	50.0%
②就業率【%】	20 歳以上の市民のうち、実際に働いている市民の割合	58.2% (平成22 年度)	60.0%
③有効求人倍率	求職者に対する求人数の割合(ハローワーク倉吉管内)	0.70 倍 (平成22 年)	1.00 倍

1-3 施策5 観光・コンベンションを基軸に、まちの集客力を高める<5>

指標名	指標の説明(出典)	現状値	目標値(平成27 年)
①観光入込客数【人】	観光のために倉吉市を訪れた人の数(県の観光客入込動態調査)【人】	1,330,587 人 (平成22 年度)	1,700,000 人
②観光入込客1人当りの消費額【円/人】	観光のために倉吉市を訪れた人が1人当りで消費した金額(赤瓦1号館の買上単価)	1,378円/人 (平成22 年度)	1,500円/人

③コンベンションの開催件数【件】	市内で開催されたコンベンションの件数(商工観光課・(財)とっとりコンベンションビューローの調査)	8件 (平成22年度)	30件
------------------	--	----------------	-----

1-3 施策6 地域の中でお金がまわる、拠点性の高いまちをつくる<6>

指標名	指標の説明(出典)	現状値	目標値(平成27年)
①市内における起業者の累計数【件】	市内における起業者の累計数(商工会議所へ起業相談し、実際に起業した方の数)	8件 (平成22年度) ※単年実績	40件 (累計)
②日頃から倉吉駅のある上井地区や成徳・明倫地区の商店街を買い物などに利用している市民の割合【%】	同左 市民意識調査(問17)	—	↑ 1+2 3+4 H23 62.0% 38.0% H24 61.3% 38.7%
③空店舗を活用した新規出店の累計数【件】	倉吉駅周辺及び中心市街地の空店舗を活用した新規出店の累計数	1件 (平成22年度) ※単年実績	10件 (累計)

《第11次総合計画》

2-1 施策1 子どもを産み、育てやすいまちをつくる<7>

指標名	指標の説明(出典)	現状値	目標値(平成27年)
①子育てに不安を持っている市民の割合【%】	中学校修了前の子どもを養育している市民のうち、「子育てに不安を感じている」と回答した市民の割合 市民意識調査(問26)	52.4% (平成22年度)	50.0% H23 48.4% H24 55.4%
②子育て支援センターの利用者数【人】	市内にある子育て支援センターの延べ利用者数	19,149人 (平成21年度)	19,000人
③乳幼児虐待人数【人】	児童相談所で虐待と認定された乳幼児の人数	2人 (平成21年度)	0人

*指標名①関係 市民意識調査(問26)

「あなたは子育てに不安を感じていますか。」

1.かなり不安である 2.どちらかといえば不安である 3.どちらかといえば不安でない 4.全く不安でない

2-1 施策2 仕事と子育てが両立でき、子どもを持つことを社会全体で応援する<8>

指標名	指標の説明(出典)	現状値	目標値(平成27年)
①子育てと仕事が両立できる環境が整っていると思う市民の割合【%】	中学校修了前の子どもを養育している市民のうち、「倉吉市は子育てと仕事が両立しやすい環境が整っている」と回答した市民の割合 市民意識調査(問25)	40.5% (平成22年度)	45.0%
②待機児童数【人】	保育所の待機児童数	0人 (平成22年度)	0人
③出生数【人】	過去1年間に誕生した新生児の数	423人 (平成21年)	382人

2-2 施策3 みんなで支え合い、助け合える環境をつくる<9>

指標名	指標の説明(出典)	現状値	目標値(平成27年)
①地域の中で支え合い・助け合える関係ができていると思う市民の割合【%】	「地域の中で、他人同士がお互いに支え合い・助け合える関係ができている」と回答した市民の割合 市民意識調査(問54①)	—	↑ 1+2 3+4 H23 58.7% 25.2% H24 59.3% 24.4%
②ボランティア活動をしている市民の数【件】	倉吉市社会福祉協議会にボランティア登録している個人とグループの合計数	2,122件 (平成22年)	2,747件
③ボランティアセンター主催の講座・研修会に参加した市民の数【人】	倉吉市ボランティアセンターが開催している講座・研修会に参加した市民の数	364人 (平成21年度)	500人
④ボランティアグループの活動に参加している市民の数【人】	倉吉市ボランティア連絡協議会に加入しているボランティアグループの会員数 (※合計)	213人 (平成20年度)	270人

* 指標名①関係 市民意識調査(問54①)

「あなたのお住まいの地域では、自治公民館活動等を通じ、市民同士がお互いに支え合い、助け合っていると思いますか」

1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない 5. わからない

2-2 施策4 高齢者が生涯現役で活躍できるまちをつくる<10>

指標名	指標の説明(出典)	現状値	目標値(平成27年)
①高齢期も安心して暮らせるまちと思	65歳以上の高齢者のうち、「倉吉市は高齢期になっても、	—	↑ 1-2 3-4

う市民の割合【%】	安心して暮らせるまちだと思 と回答した市民の割合 市民意識調査(問11)		H23 63.2% 36.8% H24 62.5% 37.5%
②過去1年間に社 会貢献活動に参加 した高齢者の割合 【%】	65歳以上の高齢者のうち、「過去 1年間にボランティアなどの社会貢 献活動に参加したことがある」と回 答した市民の割合 市民意識調査(問8⑥)	—	↑ 1~3 4+5 H23 13.9% 86.0% H24 11.2% 88.8%
③要介護・要支援 認定となった市民 の割合【%】	65歳以上の高齢者のうち、 要介護・要支援認定を受けた 市民が占める割合	19.1% (平成21年度)	21.8%

*指標名①関係 市民意識調査(問11)

「倉吉市は高齢期になっても、安心して暮らせるまちだと思いますか。」

1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. 全くそう思わない

*指標名②関係 市民意識調査(問8⑥)

65歳以上の方にお聞きします。「あなたは、過去1年間にボランティアなどの社会貢献活動に参加したことがありますか。」

1. ほぼ毎日行っている 2. 週に1回程度行っている 3. 月に数回程度行っている 4. 年に数回程度しか行っていない
5. 全く行っていない

2-3 施策7 一人ひとりのライフサイクルに応じた健康づくりを進める < 1 3 >

指標名	指標の説明(出典)	現状値	目標値(平成27年)
①自分自身が健康 であると思う市民 の割合【%】	「自分自身が心身共に健康 だと思」と回答した市民の 割合 市民意識調査(問10)	62.5% (平成22年度)	70.0% 1~3 4+5 H23 67.2% 32.8% H24 71.0% 29.8%
②自主的な健康づ くりに取り組んでい る市民の割合【%】	「自らが自主的に健康づく りのための活動に取り組んで いる」と回答した市民の割合 市民意識調査(問8①)	—	↑ 1~3 4+5 H23 41.9% 58.1% H24 44.5% 55.5%
③年1回は健診を 受診している市民 の割合【%】	「年1回は健康診査を受診し ている」と回答した市民の割 合 市民意識調査(問14)	—	↑ 1 2 H23 71.6% 28.4% H24 67.1% 32.9%

*指標名①関係 市民意識調査(問10)

「あなたは、ご自身が心身ともに健康だと思いますか」

1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. 全くそう思わない

*指標名②関係 市民意識調査(問8①)

「あなたは日頃からウォーキングなど、何かスポーツに取り組んでいますか。」

- 1.ほぼ毎日行っている 2週に1回程度行っている 3月に数回程度行っている 4年に数回程度しか行っていない
5全く行っていない

*指標名③関係 市民意識調査(問14)

「あなたは、年に1回は健康診査を受診していますか」

- 1 はい 2 いいえ

《第1 1次総合計画》

3-1 施策1 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する<16>

指標名	指標の説明(出典)	現状値	目標値(平成27年)
①「進んで学習に参加している」と答えた児童生徒の割合【%】	学校評価アンケート(各学校が実施したものを集計)	—	↑
②「学校のきまりを守っている」と答えた児童生徒の割合【%】	全国学力学習状況調査(質問紙) (小学校6年生、中学校3年生が対象)	小学生:92% 中学生:89% (平成22年度)	小学生:90%以上 中学生:90%以上
③新体カテストの結果で「おおむねよし」と判定された児童・生徒の割合【%】	新体カテストは、児童・生徒の体力や運動状況を確認、健全な発達を図ることなどを目的に実施	小学生:82.1% 中学生:81.4% (平成21年度)	小学生:85%以上 中学生:85%以上
④「今住んでいる地域の行事に参加している」と答えた児童生徒の割合【%】	全国学力学習状況調査(質問紙) (小学校6年生、中学校3年生が対象)	小学生:79% 中学生:53% (平成22年度)	小学生:85%以上 中学生:65%以上
⑤学校施設の耐震化率【%】	小・中学校の校舎及び体育館のうち、耐震化済みの施設が占める割合	55.9% (平成22年度)	73.0%

3-1 施策2 子どもたちの心身ともに健やかな成長をうながす<17>

指標名	指標の説明(出典)	現状値	目標値(平成27年)
①体験活動に参加した青少年の数【人】	地区青少年育成協議会など の行う体験活動に参加した 青少年の数	4,588人 (平成21年度)	4,900人
②児童・生徒1人当りの地域・ボランティア活動への参加回数【回/人】	過去1年間に児童・生徒1人 当りが、地区公民館の活動・ 行事に参加した回数	1.2回/人 (平成21年度)	1.5回/人

3-3 施策7 地域における人と人の結びつきを強め、地域力を高める<22>

指標名	指標の説明(出典)	現状値	目標値(平成27年)
①自治公民館への加入率【%】	同左	85.6% (平成22年度)	86.0%
②過去1年間に自治公民館活動に参加したことがあると回答した市民の割合【%】	同左 (問51)	—	↑ H23 65.4% H24 62.3%
③自治公民館活動などを通じ、市民同士がお互いに支え合い、助け合っていると考える市民の割合【%】	同左 市民意識調査(問54①)	—	↑ H23 58.7% H24 59.3%

* 指標名②関係 市民意識調査(問51)

「あなたは、過去1年間に住まいの地域の自治公民館活動に参加したことがありますか。」

1.いつも参加している 2.時々参加している 3.あまり参加していない 4.全く参加していない

* 指標名③関係 市民意識調査(問54①)

「あなたのお住まいの地域では、自治公民館活動等を通じ、市民同士がお互いに支え合い、助け合っていると思いますか。」

1.そう思う 2.どちらかといえばそう思う 3.どちらかといえばそう思わない 4.そう思わない 5.わからない

3-3 施策8 市民の自主的・自発的なまちづくり活動を活発にする<23>

指標名	指標の説明(出典)	現状値	目標値(平成27年)
①市内で活動するNPO法人・ボランティア団体の数【団体】	同左	NPO法人:16 団体 ボランティア団体:43 団体 (平成22年度)	NPO法人:20 団体 ボランティア団体:50 団体
②市民が自主的・自発的なまちづくり活動に取り組んでいると思う市民の割合【%】	同左	—	↑ 1+2 3+4 5 H23 43.6% 35.3%21.1% H24 46.0% 33.1%20.9%

* 指標名③関係 市民意識調査(問54②)

「あなたのお住まいの地域では、市民が自主的・自発的なまちづくり活動に取り組んでいると思いますか」

1.そう思う 2.どちらかといえばそう思う 3.どちらかといえばそう思わない 4.そう思わない 5.わからない

4-1 施策2 にぎわいのあるまちなかを再生する<25>

指標名	指標の説明(出典)	現状値	目標値(平成27年)
①倉吉駅のある上井地区や成徳・明倫地区の商店街は、買い物しやすく魅力があると思う市民の割合【%】	同左 市民意識調査(問18)	—	↑ 1+2 3+4 5 H23 29.6% 57.4%13.0% H24 29.4% 56.3%14.3%
②日頃から倉吉駅のある上井地区や成徳・明倫地区の商店街を買い物などに利用している市民の割合【%】	同左 市民意識調査(問17)	—	↑ 1+2 3+4 H23 62.0% 38.0% H24 61.3% 38.7%
③倉吉駅のある上井地区や成徳・明倫地区の商店街における空き店舗数【件】	当該区域を対象とした聞き取り調査などに基づく空き店舗数	89 件 (平成21年度)	79 件

*指標名③関係 市民意識調査(問18)

「あなたは倉吉駅を中心とした上井地区や成徳・明倫地区の商店街は買い物しやすく魅力があると思いますか。

1.そう思う 2.どちらかといえばそう思う 3.どちらかといえばそう思わない 4.そう思わない 5.わからない

*指標名③関係 市民意識調査(問17)

「あなたは、日頃から買い物等をする際に、倉吉駅を中心とした上井地区や成徳・明倫地区の商店街を利用しますか。」

1 いつも利用している 2 時々利用している 3 あまり利用していない 4 全く利用していない

4-1 施策5 まちなかへの公共交通アクセス機能を強化する<28>

指標名	指標の説明(出典)	現状値	目標値(平成27年)
①市内の公共交通に日常的に不便を感じている市民の割合【%】	日常的な移動手段として、鉄道やバスなどの公共交通機関を利用している市民のうち、「日常的に不便を感じている」と回答した市民の割合 市民意識調査(問40)	44.4% (平成22年度)	30.0% 1 2 計 H23 37.2% 37.2% 74.4% H24 32.4% 43.7% 76.1%
②1年間に路線バスを利用した市民の割合【%】	過去1年間の内に「路線バスを利用したことがある」と回答した市民の割合 市民意識調査(問41)	—	↑ 1+2 3+4 H23 22.1% 78.0% H24 21.1% 78.9%
③市内を結ぶ生活バス路線の年間利用者数【人】	同左	1,043,342 人 (平成21年度)	1,040,000 人

* 指標名①関係 市民意識調査(問40)

「日常的に市内の公共交通の便に不便を感じますか。」

1.日常的に不便を感じている 2.たまに不便を感じている 3.あまり不便を感じない 4.不便を感じることはない

* 指標名②関係 市民意識調査(問41)

「あなたは、過去1年間のうちに路線バスを利用したことがありますか。」

1.いつも利用している 2.時々利用している 3.あまり利用していない 4.全く利用していない

4-1 施策6 ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える<29>

指標名	指標の説明(出典)	現状値	目標値(平成27年)
①身近にゆとりと潤いのある住環境が整っていると思う市民の割合【%】	同左 市民意識調査(問42③)	—	↑ 1+2 3+4 5 H23 47.3% 33.7% 9.2% H24 53.7% 36.8% 9.6%
②住んでいる市街地の景観や街並みが優れていると思う市民の割合【%】	同左 市民意識調査(問42⑤)	75.9% (平成22年度)	80.0% 1+2 3+4 5 H23 43.5% 42.9% 13.7% H24 44.5% 42.1% 15.1%
③公園・緑地の整備や緑化の推進に対する市民の満足度【%】	身近に緑や水辺と親しみ、ふれあうことができる公園・緑地の整備や、緑化の推進に関する取組について、「満足している」と回答した市民の割合 市民意識調査(問44①)	—	↑ 1+2 3+4 5 H23 44.4% 49.2% 6.5% H24 44.5% 49.0% 6.5%
④市民1人当りの公園面積【㎡/人】	供用済みの都市計画公園面積を全市の人口で除した値	14.9 ㎡/人 (平成21年度)	18.7 ㎡/人
⑤倉吉市営住宅長寿命化計画に基づき、計画的に修繕や改善、建替を実施した累計戸数【戸】	同左	0戸 (平成22年度) ※単年実績	140戸 (累計)

* 指標名①関係 市民意識調査(問42③)

「あなたのお住まいの地域は、ゆとりと潤いのあるよい住環境が整っていると思いますか。」

1.そう思う 2.どちらかといえばそう思う 3.どちらかといえばそう思わない 4.そう思わない 5.わからない

* 指標名②関係 市民意識調査(問42⑤)

「あなたのお住まいの地域は、市街地の景観や街並みが優れていると思いますか。」

1.そう思う 2.どちらかといえばそう思う 3.どちらかといえばそう思わない 4.そう思わない 5.わからない

* 指標名③関係 市民意識調査(問44①)

「あなたのお住まいの地域は、公園や緑地などの憩いの場が整備されていると思いますか。」

1.そう思う 2.どちらかといえばそう思う 3.どちらかといえばそう思わない 4.そう思わない 5.わからない

4-2 施策10 災害に強いまちをつくる<33>

指標名	指標の説明(出典)	現状値	目標値(平成27年)
①防災体制が整っていると思う市民の割合【%】	地域の中で、いつどこで起きるかわからない災害に備えた防災体制が整っていると思う市民の割合 市民意識調査(問22①)	—	↑ 1+2 3+4 5 H23 29.1% 49.6% 21.3% H24 28.6% 49.6% 21.9%
②自主防災組織の組織率【%】	自主防災組織がある自治公民館の割合	(平成21年度)61.3%	80.0%
③消防団員の人数が確保できている地区の割合【%】	市内13地区中、消防団員の人数が確保できている地区の割合	38.4% (平成21年度)	85.0%

*指標名①関係 市民意識調査(問22①)

「あなたのお住まいの地域では、いつどこで起きるかわからない、災害に備えた防災体制が整っていると思いますか。」

1.そう思う 2.どちらかといえばそう思う 3.どちらかといえばそう思わない 4.そう思わない 5.わからない

4-2 施策11 犯罪や事故のないまちをつくる<34>

指標名	指標の説明(出典)	現状値	目標値(平成27年)
①安全・安心に暮らせていると思う市民の割合【%】	地域の中で、犯罪の危険を感じることなく、安全・安心に暮らせていると思う市民の割合 市民意識調査(問22②)	—	↑ 1+2 3+4 5 H23 65.5% 27.6% 6.9% H24 66.4% 26.0% 7.6%
②刑法犯の認知件数【件】	倉吉警察署が発表する件数	528件 (平成21年)	500件
③交通事故(人身事故)の発生件数【件】	倉吉警察署が発表する件数	133件 (平成21年)	126件

*指標名②関係 市民意識調査(問22②)

「あなたのお住まいの地域では、犯罪の危険を感じることなく、安全・安心に暮らせていると思いますか。」

1.そう思う 2.どちらかといえばそう思う 3.どちらかといえばそう思わない 4.そう思わない 5.わからない

倉吉市第11次総合計画

経営方針1 施策1 市民参画と協働のまちづくりを支える仕組みを充実させる<36>

指標名	指標の説明(出典)	現状値	目標値(平成27年)
①公募委員が参加している審議会等の割合【%】	法令や個別条例に基づき設置した審議会、協議会、委員会などのうち、公募委員が参加している会議体が占める割合	9.8% (平成22年度)	50.0%
②市民参画と協働	市内で活動するNPO法人・	—	↑

を支える仕組が充実していると思うNP O法人・ボランティア団体の割合【%】	ボランティア団体に対する聞き取り 調査などに基づき把握		
③地域のまちづくりに自分の意見を反映させたり、実際の活動にも参加している(※又は参加したいと思っている)市民の割合【%】	同左 市民意識調査(問52)	—	↑ 1+2 3+4 H23 42.2% 57.7% H24 40.6% 59.3%

* 指標名③関係 市民意識調査(問52)

「あなたは、お住まいの地域のまちづくりに、自分の意見を反映させたり、実際の活動に参加していますか。」

1.いつも参加している 2.時々参加している 3.あまり参加していない 4.全く参加していない

経営方針2 施策2 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する<37>

指標名	指標の説明(出典)	現状値	目標値(平成27年)
①経常収支比率【%】	経常収支比率は、地方自治体の財政構造の弾力性を判断する指標であり、この比率が高くなるほど財政が硬直化しているとされる	97.6% (平成21年度)	95.0% H22 92.5% H23 92.5%
②倉吉市では税金が効果的・効率的に使われていると思う市民の割合【%】	同左 市民意識調査(問49)		↑ 1+2 3+4 5 H23 19.7% 28.9%51.4% H24 18.5% 28.1%53.5%
③市民による事務事業評価の累計数【事業】	倉吉まちづくり評価で点検していただく事務事業の累計数	10事業 (平成22年度) ※単年実績	85事業 (累計)

市民意識調査(問49)

「倉吉市では、総合計画に基づいてまちづくりを進めています。その目標を達成するために予算(市税、地方交付税、国県支出金など)が効果的・効率的に使われていると思いますか」

1.そう思う 2.どちらかというと思う 3.どちらかというと思わない 4.そう思わない 5.わからない

経営方針1 施策3 職員一人ひとりの能力を高める<38>

指標名	指標の説明(出典)	現状値	目標値(平成27年)
市役所職員の対応に満足している市民の割合【%】	同左 市民意識調査(問48)	—	↑ 1+2 3+4 H23 77.0% 23.1%

			H24 75.4% 24.6%
--	--	--	-----------------

市民意識調査(問49)

*「あなたは、市役所の窓口や電話など、職員の対応についてどう思いますか。」

1 満足している 2 どちらかという満足している 3 どちらかという満足していない 4 満足していない

経営方針3 施策5 安定的に自主財源を確保する<40>

指標名	指標の説明(出典)	現状値	目標値(平成27年)
①財政調整基金及び減債基金の保有額【億円】	・財政調整基金とは、地方自治体が予期しない収入減や不時の支出増に備えて積み立てておく資金 ・減債基金とは、市債の償還財源を確保し、財政の健全な運営に資するための資金を積立てることを目的に設置された基金	9.0 億円 (平成21 年度)	20.0 億円 H22 14.3億円 H23 19.0億円 H24 20.6億円 H25 17.2億円 (25年度は予定)
②実質公債費比率【%】	収入規模に対する借金返済額の割合であり、18%を超えると起債に県の許可が必要となる	20.0% (平成19~21年度 3ヶ年平均)	18.0%未満 (平成25~27年度 3ヶ年平均)
③市税の収納率【%】	同左	92.0% (平成21 年度)	93.0% H22 92.28% H23 92.89%

経営方針4 施策7 双方向型の情報提供を充実させる<42>

指標名	指標の説明(出典)	現状値	目標値(平成27年)
①倉吉市の情報を知るために、日頃から市役所のホームページや市報くらしよを見ている市民の割合【%】	同左 市民意識調査(問47)	—	↑ 1+2 3+4 5 H23 59.7% 22.6%17.7% H24 57.5% 23.7%18.8%
②市民に開かれた市政運営が行われていると思う市民の割合【%】	同左 市民意識調査(問50)	—	↑ 1+2 3+4 5 H23 27.2% 27.8%44.9% H24 26.0% 27.3%46.7%
③情報漏えい発生件数【件】	同左	0件 (平成22 年度)	0件

市民意識調査(問47)

*「あなたは、倉吉市の情報を得るために、日頃から市役所のホームページや市報くらしよを見たりしていますか。」

1月に数回程度読んでいる 2年に数回程度読んでいる 3ほとんど読んでいない 4全く読んでいない

市民意識調査(問50)

*「あなたは、倉吉市では情報公開など市民に開かれた市政運営が行われていると思いますか。」

1 そう思う　2 どちらかというと思う　3 どちらかというと思わない　4 全く思わない　5 わからない